

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

| | |
|--------------------------------|--|
| 研究課題名 | チームに対する心理サポートの事例研究 |
| 倫理審査委員会承認番号 | 2021-062 |
| 研究開始日 | 2022年1月17日 |
| 研究終了日 | 2023年3月31日 |
| 研究目的 | 本研究では、トップチームに対して、オリンピックまでの心理サポートを実施したプロセスを検討し、下記3点を検討することを目的とする。 ① トップチームの心理サポートにおいてチーム全体を俯瞰する視点を持つ方法 ② トップチームの心理サポートにおいて、チームの中で柔軟に個に対応する方法 ③ ①と②を両立する方法 |
| 研究対象者 | 本サポートを実施したチームを対象とする。分析をするチームの人数については30人程となる。（そのうち個別サポートを実施した対象者も含む） |
| 研究概要 | オリンピックが求める心理サポートにおいては、①人間関係の円滑化を目的とした心理サポート、②スポーツメンタルトレーニング指導士(サポート提供者)の長期にわたる第三者的な立場での関わり、③チーム状況やアスリートの特性に応じた心理的サポートが挙げられており(林・土屋, 2010)、チームに関わる心理担当者はチームの状況を俯瞰的に読み取りながら、個の特性に応じた柔軟なサポートを提供することが求められている。 このような研究では、具体的にどのような方法やプロセスでそれを実現するのかといった詳細な内容については、触れていない。上述の俯瞰する視点と個に沿う視点といった、相反する2つの視点を併せ持ち、状況に応じて柔軟に対応することは、簡単なことではなく、未だこの方法論は明らかになっていない。 そこで、本研究では、トップチームに対して、オリンピックまでの心理サポートを実施したプロセスを検討し、下記3点を検討することを目的とする。 ① トップチームの心理サポートにおいてチーム全体を俯瞰する視点を持つ方法 ② トップチームの心理サポートにおいて、チームの中で柔軟に個に対応する方法 ③ ①と②を両立する方法 |
| 研究に用いる情報の種類 | サポート記録 |
| 研究の資金源 研究に係る利益相反及び 個人の収益 | ○本研究の資金源は、JISS内予算です。 ○本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。 |
| 研究責任者 | 立谷泰久・スポーツメディカルセンター |
| 研究分担者 | 江田香織・スポーツメディカルセンター 谷内花恵・スポーツ科学部 |
| 問合せ先 | 江田香織・スポーツメディカルセンター 03-5963-0237 kaori.eda@jpnnsport.go.jp |